

Z会東大進学教室メテウス

保護者通信 本科3期号【中1生】

本科担当講師から「本科3期授業報告」
「これからの過ごし方」のメッセージ

【英語】

中1選抜東大英語 1EJSS 石井 直子講師 [いしいなおこ]

1EJSSの皆さんは、この一年間で様々な時制を英語で表現出来るようになりました。「現在」「過去」「未来」全て扱いました。be動詞と一般動詞の区別、3人称単数、進行形などに気をつけて完璧に使いこなしましょう。不安が残る所は、しっかり確認しておいてください。中1ではとても多くのことを学びました。それをもとにして中2で新しく習う事を身につけていきます。

クラスの皆さんはとても意欲的で、英作文や英語での発言にも積極的です。授業では、習った内容を使って英語で質問を作り、お互いに質問してもらいますが、オリジナルの質問に毎回とても盛り上がります。3期に扱った「比較」はいろいろ比べられて面白かったですね！生徒さん達の発想力の豊かさに、毎回驚かされます。英語は言語なので、使いこなせるようになってほしいです。中2になっても、文法、英作文、リスニング、読解とバランスよく扱うので、表現の幅がますます広がりますよ！楽しみにしててください！

中1英語 1EJS 笥 雅子講師 [かけいまさこ]

本科3期では、すでに学習してある名詞を使った「存在文」や、形容詞や副詞の知識を踏まえて「比較表現」を学習しました。1学期2学期より高度で複雑な英文を学習したことになります。そのような学習を進めてゆくためには、毎回の授業内容をしっかり理解し納得することがまず一段階ですが、そこで「学習は終わった」わけではなく、スラスラ使えるようにしてゆくには復習と練習が必要だと毎回話してきました。そのため、授業開始時に、3種類の「テスト」を行ってきました。単語の知識、基本例文の習得、そして、前週扱った問題の解き直し。以上のような「テスト」で復習練習の有無、知識の習熟度を見てきました。2年生になると、2つの動詞を1文に入れる「不定詞」「動名詞」や2つの節を1文中で組み合わせる「関係代名詞」など、いずれも1年生での学習を踏まえてゆきます。毎回の授業を習得してゆかないと英語力の増強は進みません。毎回の授業を「やりっぱなし」にせず、復習練習してゆく習慣を2年でも続けていただきたいと思っています。

★学習は継続していくことが何より大切です。
3学期中で習ったことを春期講習中にしっかり定着させ、
また新学年・1学期も新しいことを学習していきましょう。



【数学】

中1選抜東大・医学部数学 1MJSS 石田 浩一 講師 [いしだ こういち]

本科3期では公立中学では3年生で扱われる代数分野の核心部分を学びました。冬期講習までで学んだ乗法公式をもとに、根号の計算、因数分解、そして2次方程式、2乗に比例する関数を扱いました。数や式の背後にある性質を深く理解し、さらにそれらを公式化してそれを利用していくという数学のスタイルを身につけていることが要求される単元でした。ただ「答を出せばよい」という姿勢では立ちいかなくなっています。学年の始めからずっと強調してきた「算数のスタイルからの脱却」が求められています。公式を理解する、途中の式をきちんと書く、文字や式の意味を理解する、といった基本動作をより大切にしてください。これらが続いて学ぶ高校数学の基礎になっていきます。気になっているのは、添削の提出率が下がっていることです。学校の課題も多いので大変だとは思いますが、「わかったつもり」で放置しておくところから先は大変なことになります。この講座は添削によって成り立っています。「手を動かす」こと無しに理解は深まりません。できていないところがあっても、遅れても、提出するようにしてください。添削に取り組む時間を確保するよう生活のリズムを見直しましょう。春期講習ではこの1年間の振り返りをしつつ、応用問題にも取り組みます。そして2年生ではよいよ相似・三平方の定理を学ぶことで中学数学範囲の学習を終えることとなります。その基礎となる内容がこの本科3期の内容ですから、添削課題を振り返るなどしてしっかり復習をしておきましょう。

中1数学 1MJS 吉村 慎太郎 講師 [よしむら しんたろう]

◆本科3期の指導内容

中学校の授業を先行する形で初回から始め、2期の後半から3期にかけて、2年次の「三角形の合同証明」から、「平行四辺形の証明」まで完成させて、「連立方程式」で終了しました。

◆授業の様子

理解度の高い生徒ばかりでしたので、一度の解説でよく理解してくれました。基本的な練習問題をする中で、その後の難問もクリアしてくれていました。ただ、相変わらず、ケアレスミス(単位の変換ミス、図形の三角形の面積の二分の一を忘れるなど)が多くみられるのは私の指導不足だったかと反省しております。毎週の宿題の提出は、70%以上でここも今後の課題かと思いますが、数学はある程度の問題演習の繰り返し練習が必要です。次年度以降もしっかりと学習を続けてもらいたいと思います。

◆今後の学習のポイント

2年次は、より高度な数学となって行きますので、毎回のテキストの予習・復習、宿題を忘れないように継続させてください。AOや学校推薦を考えると学校の「中間試験や期末試験」も欠かすことができませんが、受験数学は、理系であってはもちろん国立文系でも重要です。遅れることないように、しっかりと学習してってください。

大学入試までにはまだまだ長い道のりがありますが、「千里の道も一歩から」の気持ちで、今やっている数学や英語や国語が繋がっているのだという気持ちを忘れないように、しっかりとこなしてください。つけ焼き刃では、論理的な思考力と基礎的な計算を欠かすことはできません。問題突破力を身に付けてゆくには、「正しい解き方と問題演習」が必要不可欠で、特に量と質が重要です。

予習時に解らないところは、自分なりに読んでわからなくても、自分に疑問点あるいは意識をもって授業を受けると、解説が納得できるようになります。復習するときも、要点などのまとめや解き直しを必ずやって、不明な点やわからないところをピックアップするようにしましょう。繰り返し練習することで、徐々にできるようになります。今からでも遅くないので、ミスの少ない計算力を身につけるようにしましょう。

Z会東大進学教室メテウス 教室窓口受付時間 14:00~21:00(月~土曜日)※講習期間中は異なる場合あり

御茶ノ水教室 03-5296-2828

渋谷教室 03-5774-2828

池袋教室 03-5985-2828※[池袋教室は月曜休室日]